

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

広島県 地域セミナー 報告書

2018（平成 30）年 7 月 27 日（金）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」広島県地域セミナーが開催されました。当日は、広島県のオリンピック・パラリンピック教育推進校の先生方を中心に計 33 名（小学校 9 名、中学校 7 名、高等学校 15 名、特別支援学校 2 名）にご来場いただき、下記の要領で盛会の裡に終了いたしました。

【開催概要】

日時：2018（平成 30）年 7 月 27 日（金）13 時 30 分～16 時 30 分

会場：広島県立総合体育館 中会議室 B

主催：広島県教育委員会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：33 名

プログラム：

13:30～13:35 開会の挨拶

広島県教育委員会事務局 教育部豊かな心育成課 学校体育係長 光橋 健 氏

13:35～14:00 事業説明

広島県教育委員会事務局 教育部豊かな心育成課 指導主事 古井 友樹 氏

14:00～14:25 オリンピック・パラリンピック教育の現状について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 副センター長 深見 英一郎 氏

14:25～14:50 全国の学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の取組内容について

早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター 研究員 岡田 悠佑 氏

14:50～15:05 休憩

15:05～15:20 デジタル教材の鑑賞

15:20～16:15 学校におけるオリンピック・パラリンピック教育の取組の充実に向けたグループ協議

推進校の先生方

16:15～16:25 質疑応答

16:25～16:30 閉会行事

開会行事では、広島県教育委員会事務局教育部豊かな心育成課の光橋健氏（学校体育係長）より挨拶がありました。

次に、広島県教育委員会事務局教育部豊かな心育成課の古井友樹氏（指導主事）より、本事業概要の説明がありました。古井氏は、昨年度までの取り組みを踏まえながら、今年度の広島県の本事業の取り組みの目標として「+αの取り組みの充実」を挙げられました。具体的には、オリンピック・パラリンピアンによる講演や実技指

導の前後の学習を充実させ、より持続的な取り組みを実現することを目指している、ということでした。

続いて、本センターの深見英一郎副センター長より、本事業の概要及びオリンピック・パラリンピック教育の現状についての講義がありました。当初 10 地域から始められた本事業だが、3 年目の今年度は 35 地域まで増え、少しずつオリンピック・パラリンピック教育が広まってきている一方で、学校現場では、まだまだオリンピック・パラリンピック教育の実践を行ううえでの課題は山積しているという現状を報告されました。そして今後は、推進校の先生方と少しずつそれらの課題を解消しながら、オリンピック・パラリンピック教育を充実させていく必要がある、という説明がありました。



古井 友樹 氏



深見 英一郎 副センター長

さらに、本センターの岡田悠佑研究員より、各種学校における具体的なオリンピック・パラリンピック教育の実践方法についての講義がありました。オリンピック・パラリンピアン講演や実技指導の前後の取り組みとして、オリンピック・パラリンピックを関連付けた授業や掲示物の作成などの取り組みについて、事例を交えながら紹介がありました。

休憩後、デジタル教材の鑑賞を行いました。昨年度、本センターで作成した「夢に向かって 車いすアスリートの挑戦」を上映しました。さらに、各校の実状に合わせたオリンピック・パラリンピック教育の計画をたてるためのグループワークを行いました。具体的には、今年度の各校における行事及び授業計画とオリンピック・パラリンピック教育をどのように組み合わせるか、という点について各校種ごとに分かれて検討を行いました。各校の実状に合わせて、オリンピック・パラリンピック教育を行うための様々なアイデアが出されていました。質疑応答では、推進校の先生から 2020 年以降も継続的にオリンピック・パラリンピック教育を行っていくための方法の検討が必要である、という意見が出ました。



グループワークの様子①



グループワークの様子②